

新編武藏國風土記稿

豊嶋郡

卷之十二

和書門			
類	號	函	架
一六五〇	二二三	一	二五九

内閣文庫			
類	號	冊	函
和書	一六五〇	二五五	七三
		一七	

内閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255 (13)
函號	173 210



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



淡路府
淡路郡
淡路町

淡路府淡路郡淡路町

淡路府淡路郡淡路町



新編武藏風土記卷之十二目錄



豊島

郡之四

方領

下高田村

市ヶ谷町在方分

牛込村

牛込肴町在方分

早稲田村

中里村



上落合村
 下落合村
 池袋村
 中九村
 金井久保村
 新田堀之内村
 上板橋村
 下板橋宿

新編武藏風土記卷之十二



島郡之四
 方領
 下高田村

下高田村ハ。日本橋ヨリ行程一里半。毎ニ高田ハ當
 郡及多磨郡ニモ跨シ地ニテ。古ハ上下ノ別ナク。通
 シテ高田トノニ稱セリ。小田原役帳ニ。赤澤千壽十
 五貫文江戸高田内。中村平次郎十三貫文同所内。及
 太田新六郎知行三貫文高田内赤澤分。七百文高田

濟田分。同人私領内寄子衆配當一貫二百文高田内
 葛谷岸分等ニエテ。殊ニ大村ナリ。其後上下二村ト
 ナリ。及葛谷分村セシ年月ハ詳ニセサレド。正保改
 ノ國圖等ニハ。既ニ今ノ如ク分ナテ。上村ヲ多磨郡
 ニ屬シ。下村ヲ當郡ニ屬シタリ。四境。東ハ關口村及
 武家屋鋪。南ハ下戸塚村。源兵衛村。西ハ下落合村。北
 ハ雜司ヶ谷村。東西十丁。南北五丁餘。家數百十軒。正保
 ノ頃ハ。御料所ニレテ。今御料及半込芳心院領。同濟
 松寺領。同宗參寺領。關口蓮華寺領交レリ。蓮華寺領
 ハ。元禄十三年。芳心院領ハ。同十五年。宗參寺領ハ。寛

永十年。濟松寺領ハ。正保三年ニ賜ハレリ。檢地ハ。延
 寶二年關口作左衛門中川八郎左衛門糺セリ。村ノ
 北寄ニ。目白邊ヨリ練馬村邊ハ。往還カ、レリ。又
 南北ハ貫ケル一條ノ道ハ。古ノ奥州道ト云。四ヶ寺
 領ノ内。段別合七段一畝十五歩ノ地。次第ニ町並ト
 ナリ。延享二年町方ノ支配ニ屬ス。
 高札場 村ノ中程ニアリ。

小名
 高田四ヶ谷町
 高田四ヶ谷下町
 共ニ町
 方支配ニ屬スルヲ以テ。御府内ノ條ニ

出セリ。

破利場

入山

大原

稲荷原

大山

金窪澤

御堂前

鶴山

五段田

宮田

後田

神田上水堀 村ノ南ヲ流ル。川幅七八間。

面影橋 上水堀ニ架ス。長十間ノ土橋ナリ。

奪見橋 面影橋ヨリ北ノ方ナル用水堀ニ架セル

小橋ナリ。此橋ノ事ハ。舊事若語南向茶話等ノ俗

書ニ奇性ノ説アレド。今土人モ掌テ傳ヘザル所

ナレハ。コヽニ載セズ。

芝野 三段許アリ。御造獵ノ時。御場持芝切場等ニ
用ユ。

宿坂 此所ニ往古關所アリシト云傳フ。

水川社 村ノ鎮守ナリ。南藏院持。在原業平ヲ祀ル

ト云。

神樂堂

末社 稲荷 第六天

稲荷富士 浅間合社 金乘院持。下同。社地ニ水戸中

納言光圀卿子植ノ櫻アリテ。木花櫻ト號セシカ。

元木ハ枯槁シテ。接木トナシ。今金象院ノ境内ニ
残レリ。又光圀卿自ラ木花開耶姫五字ノ額ヲ書
レテ。社前ニ納メラレシト云。今ニ存セリ。

神明第六天合社

南藏院 新義真言宗。大塚護國寺末。大鏡山醫王寺
ト號ス。開山圓成比丘ト云。本尊藥師ハ。聖德太子
ノ作。長三尺。或云此像ハ奥州秀衡ノ持佛タリシ
カ。圓成比丘四國ノヲリ。曼ノ告アリテ笈ニウツ
シテ。此高田ノ里ニ至ルニ。笈俄ニ重リテ盤石ノ
如シ。此地有縁ノ地ナレバトテ。草堂ヲイトナシ

安置スト云。其後大橋龍慶佛道歸依ノ餘リ。レハ
ラク當寺ニ寄寓シケレバ。

大猷院殿此邊 御遊獵ノ時。シバクナラセラシ。
御殿ナド御造營アリシトナリ。其項中振壹岐守
ヨリ龍慶ニ與ヘシ書狀アリ。文後ニ出ス。當寺ヘ
御成ノ時。四方へ出入セル門アリ。ハケ所門ト名
付シト云。昔境内ニ池アリ。鏡カ池ト呼ビシトナ
リ。當寺ノ山號モ是ヨリ起レリ。今境内ヲ流レル
小溝ヲ振川ト云。

五
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

御茶屋蹟 御茶屋ハ

大猷院殿御遊獵ノ時。御休息所トシテ造ラセ
レシ所ナリ。正保ノ國圖ニモ載タリ。其後廢
セラレ。元禄七年細井九右衛門奉リテ除地ト
ナシ。當寺ノ境内ニ入レリ。今御殿蹟ト稱ス。昔
此地ニ鶯宿梅ト呼ヘル御手植ノ梅アリシ
ガ。後枯ラ今其實生ヲ授シテ院内ノ庭前ニア
リ。

金乘院 新義真言宗。多磨郡中野村寶泉寺末。神靈
山觀音院ト號ス。本尊正觀音。長一丈八分。毘首顰

摩ノ作。開山永順。文禄三年六月四日寂ス。

御嶽社 辨天社 三峯社

觀音堂 荒神ヲ合殿トス。觀音ハ木ノ立像長三
尺。運慶ノ作ト云。

鐘樓 寶曆八年鑄造ノ鐘ヲカク。

儀同殿抱屋鋪 一萬七百四十九坪。

一ノ橋殿抱屋鋪 三千五百坪。

松平大炊頭抱屋鋪 五百七十四坪。

大岡主膳正抱屋鋪 一萬二千七十二坪五合。

稻垣鶴之丞抱屋鋪 九百三十六坪。

久貝遠江守抱屋鋪 千八百五十七坪。
 大久保甚兵衛抱屋鋪 千八百五十七坪。
 井開彌右衛門抱屋鋪 二百五十七坪。
 永井四郎左衛門抱屋鋪 二百九坪。
 伊奈熊藏抱屋鋪 二百十二坪。

市ヶ谷町在方分

市ヶ谷町ハ。日本橋ヨリ三十丁ヲ隔ツ。閏釜ノ年代ヲ
 傳ヘズ。往古島田主計。濱中太郎兵衛。宇田川利左衛
 門。杉山七郎兵衛。長尾庄兵衛。依田権九衛門等七人
 草創セリト云。鶴岡文書。延文二年十二月二十二日。
 足利基氏下文ノ文ニ。鶴岡八幡宮雜掌任阿申。武藏
 國金曾木彦三郎。市谷孫四郎等蹟事。此江戸淡路守
 押領。任正和元年八月十一日寄進狀。可被沙汰付社
 家之狀如件云云見ユ。此市谷孫四郎ハ。當所ヲ領シ。

在名ヲ摘セシナラシ。又小田原役帳ニ。太田新六郎
知行三十二貫九百十六文。江戸市谷。齋藤分。二十貫
六百十六文。江戸中里市谷源三郎分ト載タリ。永涼
雜記ニ。往古ハ市買ト書ス。是此所ニ市ヲ立テ賣買
アリシ故ノ名ナリト。又一説ニ。此邊ニ谷四ヶ所ア
リ。一ヨリ四マテ頰ニ呼フ。當所其第一ナレハ一谷
ト唱ヘ。ニ三八其所ヲ詳ニセズ。四ハ今ノ四ッ谷ナリ
ト云。サレド四ッ谷ノ地名ハ。往古人家ノ數ヨリ起リ
シト云ヒ。今既ニ彼四家ノ内子孫連綿スレモノア
レバ。前説是ニ近カレベシ。又前ニ載ル延文ノ文書

及役帳共ニ市谷ニ記セリ。市買ト書スルハ。一時ノ
假借ナレベケレド。今モ尾州藩ニテハ多ク買ノ字
ヲ用ユト云。御打入ノ時。開發人ノ子孫ヲ初トシ
テ。村民等川崎宿マテ出迎奉シヨリ。當村甲府筋配
符ノ御用ヲ會セウレシト云ヘト。其始末ハ傳ヘズ。
古ヨリ御料所ニテ。今モ然リ。今市谷ト唱フル地。東
ハ御堀ヲ限リ。南ハ四ッ谷。西ハ大久保邊。北ハ牛込ノ
地ニ接セリ。正保ノ改ニ。高四十三石七斗七升六合。
野村彦太夫御代官所市ヶ谷村トアリ。寛文年中ヨリ
百姓高店ヲ建テ。町並ヲ成シ。正徳三年町奉行ノ支

配ニ属シ。貢ハ今モ御代官進退ニ依。其町々ハ。市谷
本村町。同谷町。同庁町。同三軒屋鋪。同柳町。以上五ヶ
町。惣段別一町一段九畝二十一歩ノ地ナリ。此餘古
来村内ヲ裂テ。武家ノ賜地町屋鋪等。及ヒ寺院ノ門
前町屋許受アリ。今全御代官ノ指揮ヲ受ルモノ。僅
ニ一町七段三畝八歩ノ地モ。多クハ武家ノ抱屋敷
トナリ。所々ニ散在シ。又見取場トテ。貢ヲ奉ルモノ
五段五畝二十七歩アリ。是ヲ在方分ト唱テ。檢地ハ
寛文十二年野村彦太夫糾セリ。
高札場 在方町方組合。谷町ニアリ。

小名

蓮池

市谷庁町續御先手組屋鋪ニ傍ラ
アリ。前ニ去見取場年貢地ノ内ナリ。

堀

小名蓮池ノ南境ニ傍テ流ル。幅四尺許。是ヲ楓

川ト呼ヘリ。町地ニ多クカ、ルヲ以テ。事ハ御府

内ノ条ニ辨ズ。

尾張殿抱屋鋪 段別一段一畝二十歩。上屋鋪ニ添

ヘリ。

田安殿抱屋鋪 段別五段六畝十一歩。下屋鋪ノ添

地トス。以下二町モ同ジ。

小笠原大膳大夫抱屋鋪 一段二十七步。西北ナリ。
松平伯耆守抱屋鋪 七畝二十九步。前ト同町ナリ。
宮崎市三郎抱屋鋪 四畝十六步。谷町ノ續ニアリ。
佐々木三右衛門抱屋鋪 五畝二十二步。三右衛門ハ
清水殿藩士ナリ。同邊ニアリ
小林六三郎抱屋鋪 九畝六步。六三郎ハ御召物仕
立師ナリ。伯耆守下屋鋪西ニアリ。

牛込村

牛込村ハ古廣キ地ニテ。今牛込ノ町々及早稻田中
里戸塚ノ邊。都テ當村ノ地域ナリシガ。御打入ノ
後年ヲ追テ武家及寺社ノ拜領地又町屋トナリシ
ヲモテ。今全ク村ト唱フル所ハ。早稻田下戸塚ノ間
ニテ終ニ殘レリ。其地ハ東西四丁南北一丁許ニテ。
抱屋鋪トナセルモノ許多アリ。耕種ノ地ハ甚少シ。
依テ民家ハ十ク。關口早稻田兩村ノ民耕作ス。或書
ニ。當國ハ往古曠野ノ地ニシテ。駒込馬込ト云モ

皆牧アリシ所ト云。込ハ和字ニテ多ク集ル意ナリ。爰モ牛ノ多クオリシ所ナレバ名ヅケシトアレド。其塊ヲ知ラス。北條役帳ニ。江戸牛込六十四貫四百三十文大胡カ知行ナルヨシ記セリ。牛込家譜ニ。上野國大胡住人大胡彦太郎重治當國牛込ニ移リ。北條氏康ニ屬ス。重治ノ孫宮内少輔勝行カ時。天文二十四年氏ヲ牛込ト改メ。當村及今井櫻田其餘若干ノ所領アリト見エタリ。役帳ハ永祿五年ノ記ナルニ。大胡ト書セシハ古ニ因テ改メサリシナルベシ。又役帳ニ。恒岡彈正忠五百文江戸牛込之内富塚

及王子領三貫百八十文牛込之内ニ伏トノセタリ。御府内牛込ノ條ニ詳ナリ。又天正十八年太閤秀吉ノ出セシ制札ニ。武藏國荏原郡江戸ノ内牛込七村トアリ。荏原郡ト記セシハ早率ノ間タマク誤リ記セシナルベシ。御打入ノ後大友宗五郎義衆ニ賜ハリ。其子右兵衛督義親ノ時。絶嗣ナクシテ家絶タリ。正保ノ改ニハ御料及素心尼大猷院殿知行牛込宗叅寺領同行元寺領トアリ。今ハ総テ小石川傳通院領ナリ。日本橋へノ行程一里。

小名

原田

鳴子嶋

堀 戸山落ト呼フ。或ハ一本橋川トモ云。尾張殿戸
山屋鋪ヨリ流レ出。下戸塚村ヲ經テ當村ニ入。村
内ノ用水トシ。早稲田村ニ達ス。幅六尺。
水野出羽守抱屋鋪 下戸塚村ニ跨レリ。村内ニ係
ルコト九段九畝十一歩。

牛込有町在方分

肴町ハ。神樂坂ノ上東側ニアリ。昔ハ此邊一圓ニ牛
込七村ノ内ナリ。御舟入ノ項ヨリ町並トナリ肴
町ト唱フ。其餘モ年ヲ追テ武家寺社ノ賜地。又ハ町
屋トナレリ。其内牛込中芥々ニ散在シテ。町方ニ属
セズ。御代官ノ指揮ヲ受ルモノ尚若干残レリ。此等
モ今ハ皆抱屋敷或ハ寺社ノ域トナリ。其貢税ハ昔
ヨリ肴町ノ名主五三郎が進退ス。故ニ肴町分ト唱
ヘ。田圃ニアラザレド在方ニ属ス。寛文十二年九月

野村彦太夫檢地シ。御料所ナリ。

武島左門抱屋鋪 原町二町目ノ北後ニアリ。八畝

十步。元水野長次郎カ抱地ナリシニ。天明四年上

村畠次郎ニ譲リ。文政五年十二月六日左門ノ抱

トナレリ。

水野與左衛門抱屋鋪 左門ノ北隣ナリ。四段二畝。

安永二年三月。田中一郎右衛門カ譲ヲ受ト云。

浅野圖書抱屋鋪 三十八町組屋鋪ノ北隣ニアリ。

三段二畝十六步。文化七年八月鍋島帯カヨリ譲

受。

長谷川銀次郎抱屋敷 若松町北側ニアリ。一段三

畝三步。寛政元年六月十六日。永井惠守ヨリ譲受。

山口藤九郎抱屋敷 銀次郎ノ西隣ナリ。二段一畝

四步。享和元年二月二十六日。永井惠守ヨリ譲ヲ

受。

服部善太夫抱屋鋪 藤九郎ノ西隣ナリ。二段八畝

九步。天明二年永井惠守ヨリ譲受。

北村定五郎抱屋敷 善太夫ノ西隣ナリ。九畝一步。

前ト同時ニ惠守ノ譲ヲ受。

小森平五郎抱屋鋪 定五郎ノ西隣ナリ。五畝十步。

元北村兵藏ノ抱地ナリ。享和二年十一月茂羽外
記ニ譲リ。文政五年六月平五郎ノ抱トナシ。

大塚市五郎抱屋鋪 定五郎ノ北隣ナリ。八畝二十

二步。文化十二年八月山村喜十郎ヨリ譲受。

高津榮春抱屋敷 市五郎ノ北隣ナリ。一畝十二步。

文化九年四月山村喜十郎ノ譲ヲ受。

森勘右衛門抱屋敷 泉春ノ北隣ナリ。一段六畝十

五步。寛政十一年八月十三日。細井安藝守ヨリ譲

受。

大塚孫左衛門抱屋鋪 勘右衛門ノ北隣ナリ。步敷

譲受ノ事。前ニ同じ。

中山清七郎抱屋鋪 孫左衛門ノ北隣ナリ。八段三

畝十步。元鈴木嘉十郎ノ抱地ナリ。寛政十二年押

生主膳正ニ譲リ。文政四年清七郎譲受。

戸川壮藏抱屋敷 清七郎ノ南隣ナリ。八畝十步。文

政九年四月九日。鈴木重兵衛ヨリ譲受。

鈴木重兵衛抱屋敷 壮藏ノ南隣ナリ。一段五畝。文

政七年八月二十二日。近藤小八郎ヨリ譲受。

外山彌十郎抱屋敷 重兵衛ノ南隣ナリ。一段二十

二步。寛政十一年八月十三日。細井安藝守ノ譲ヲ

受。

中澤彦太夫抱屋敷 彌十郎ノ南隣ナリ。二段三畝
八步。前ト同時ニ母藝守ヨリ譲受。

中澤彦九衛門抱屋敷 彦太夫ノ南隣ナリ。一段二
畝二十步。木村権九衛門ヨリ譲受。年月ヲ失フ。

佐野清太夫抱屋敷 彦九衛門ノ南隣ナリ。五畝二
十步。コノ内四畝ハ文化十三年青山重兵衛ヨリ

譲受。一畝二十步ハ文政四年六月二十六日有田
玄眠ヨリ譲受。

志水小八郎抱屋敷 高田通り振來組屋鋪ノ東隣

ニアリ。一町五段九畝九步。寛文檢地ノ前ヨリ抱
トス。

石河太八郎抱屋敷 小八郎ノ向側ナリ。七段三畝
六步。元寺尾土佐守抱地ニテ渡邊半藏ニ譲リ。元

禄四年四月太八郎ノ家ニ譲レリ。

戸川大次郎抱屋敷 早稲田村ノ内ニアリ。三段三
畝二十三步。安永十年正月鍋島内匠ヨリ譲受。

正浜寺抱地 早稲田町ニアリ。二段六畝八步。

感通寺抱地 高田通りニアリ。三段十七步。

常泉寺抱地 石河太八郎ノ南隣ニアリ。一段四畝

三步。

大龍寺抱地 前寺ノ南隣ナリ。一段六畝四步。

尊念寺抱地 前寺ノ東隣ナリ。一段六畝五步。

常立寺抱地 前寺ノ東隣ナリ。三段七畝步。

長久寺抱地 前寺ノ西向ニアリ。一段四畝十步。

正光院抱地 前寺ノ南隣ナリ。二段一畝十六步。

願正寺抱地 前寺ノ東隣ナリ。二段六畝十三步餘。

法身寺抱地 原町ニ丁目ノ北裏ナリ。一段八畝二

十一步。

清久寺抱地 前寺ノ東向ニアリ。二段一畝二十二

步。

辛国寺抱地 原町一丁目ニアリ。五段二十六步餘。

宗圓寺抱地 川田久保町東裏ニアリ。四畝二十二
步。

南藏院抱地 御筆筭町ニアリ。七畝二十五步。

西照院抱地 津久戸前町ニアリ。二畝九步。以上十

五步。寛文檢地前ヨリ抱トス。

松源寺抱地 通寺町ニアリ。一段六畝十四步。元禄

六年酒井内記ヨリ譲受。

早稲田村

早稲田村ハ。元牛込村ノ地ニテ。小名早稲田ト唱ヘ
シテ。何ノ頃ヨリカ別村トナレリ。正保元祿ノ改ニ
モ載セズ。村内ノ地次第ニ町並トナリレ一町五段
ニ畝十九歩ノ野ハ。早稲田町ト唱ヘ。延享二年町方
ノ支配トナル。日本橋ヨリ行程一里十丁。東ハ中里
村。西ハ下戸塚牛込ノ二村。南ハ早稲田町同複町。北
ハ關口村。東西三丁。南北五丁。民家二十軒。村内多ク
茗荷ヲ植テ。江戸ニ鬻ク。是ヲ早稲田茗荷ト稱ス。檢

地ハ元禄十五年伊奈半左衛門今井九右衛門糺セ
リ。正保三年十二月半込濟松寺領ニ附セラル。

小名

柵柵元

赤城明神ノ旧地ナリ。當時神木ニ

柵ノ大樹アリシユヘ。此名起リテ近キ

邊ノ小名トナレリ。又古ハ田嶋ト呼シ

由。半込赤城社傳ニ云リ。

段段町

金田

向田

石井石井後

籠

鶴鶴卷

元禄ノ頃。小石川村ノ田圃中ニ鶴

ヲ放千飼セラレシコトアリ。其鶴常ニ

小石川ト早稲田ノ二所ニオリシ由。其

頃當村ニモ鶴番人アリシコト或書ニ

見ユ。鶴卷ノ名ハ恐クハ是ヨリ起リシ

ナラン。猶小石川村ノ條併見ルベシ。

堀ニ一ハ戸山落ナリ。牛込村ヨリ入中里村ニ達

ス。一ハ中川ト呼。下戸塚村ヨリ来リ。是モ中里村

ニ入。共ニ幅六尺。

神明社 神躰ハ。木ノ坐像ニテ。春日八幡ノ二神像

ヲ前立トス。例祭九月十六日。湯立ヲナセリ。幣殿

拜殿等了り。牛込赤城社別當等覺寺持。下同。社

傍ニ地ヲ守ルモノ、家居了り。

末社 稻荷 妙見

神樂堂 供所

地藏堂

八王子社 稻荷二座ヲ相殿トス。

新村藤兵衛抱屋鋪 一町四畝二步。

青木忠左衛門抱屋鋪 六段五畝四步。

丸毛五郎兵衛抱屋鋪 五段六畝。

筑紫佐渡守抱屋鋪 二段九畝十七步。

相馬右近抱屋鋪 二段九畝十一步。

大塚甚三郎抱屋鋪 一段九畝九步。

内藤仁左衛門抱屋鋪 一段一畝一步。

皆川藤右衛門抱屋鋪 九畝二十二步。

小出熊之助抱屋鋪 六畝二十八步。

深谷久圓抱屋鋪 六畝五步。

高橋宇平次抱屋鋪 六畝。

渡邊直三郎抱屋鋪 四畝一步。

高橋小十郎抱屋鋪 四畝一步。

西村端庵抱屋鋪 四畝二十八步。

藤井傳兵衛抱屋鋪 二畝二十步。

牛込赤城明神社蹟 村ノ東ニアリ。元赤城森ト唱
へ。小名桐元ノ田間木立アル所ナリ。赤城社ハ正
安二年九月當村ノ内田嶋ト云所ニ始テ鎮座了
リ。田嶋ハ則桐元ノ古名ナリ。其後寛正元年太田
道准今ノ社地ニ移セリト云。猶赤城社ノ條併セ
見ルベシ。今モ社蹟六十坪餘ハ除地ニテ。石ノ小
祠ヲ置。銘ニ寛政二年建立ノ由ヲ刻ス。土人元赤
城明神ト云。赤城社別當等覺寺持。

中里村

中里村モ。正保元祿ノ改ニ載セス。元牛込村ノ内ナ
リ。事ハ既ニ牛込村ニ辨セリ。當所モ延享二年村
内ヲ裂テ町方ニ屬セシ。段別ニ町ニ段四畝二十八
歩ノ地ハ。牛込中里町。同中里村町ト云。日本橋ヨリ
行程三十町。東ハ關口村。西ハ早稲田村。南ハ牛込中
里村町。北ハ關口水道町ナリ。東西四丁。南北二丁。家
數五。外ニ非人小屋三軒アリ。當村ニテモ又ノ岩荷
ヲ植テ生産ノ助トス。用水檢地地頭等。前村ニ同シ。

小名

桐元 シノキモト

名義ハ前村ニ辨ズ。

ソリ町

殿ノ下

山下 ヤマノシタ

道上 ミチノウエ

道下 ミチノシタ

谷ノ中 ヤノナカ

籠田 カゴノタ

金田 カネノタ

堀ニ一ハ戸山落。一ハ中川ナリ。共ニ早稲田村ヨ
リ入。關口村ニ達ス。幅六尺。

宗傳寺 禪宗曹洞派。牛込濟松寺末。臨川山ト號ス。

關山別峯宗傳。寛文十二年九月十八日寂ス。古ハ

庵室ニテ寺號モナカリシガ。寛文十年關山ノ名

ヲ撮テ寺號トスト云。其頃ハ和田戸山ノ内ニア

リシガ。同キ十一年九月其地尾張殿屋鋪トナリ

シ故。替地ヲ大久保新田ニテ賜ヒ。其後寶永五年

名主市郎兵衛ナルモノ願ヒ上。村内已カ所持ノ

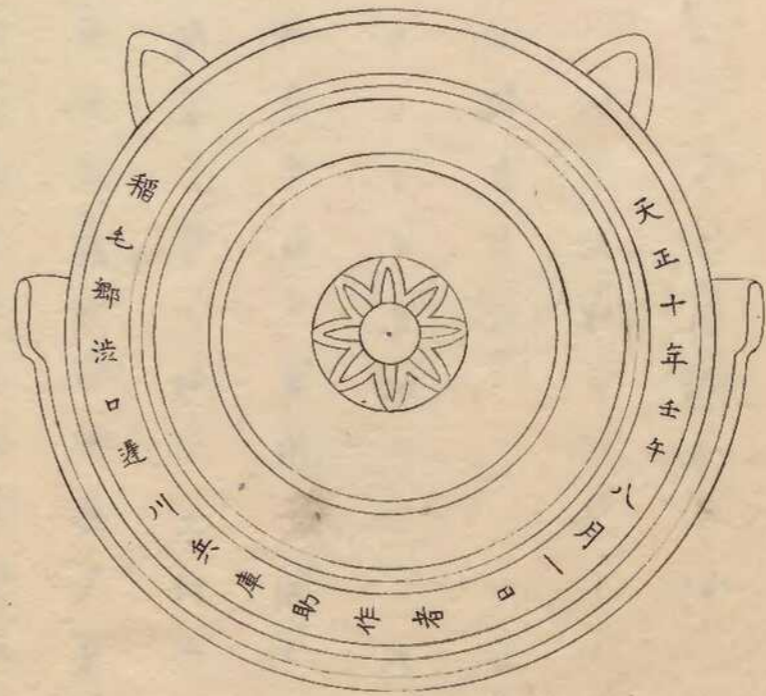
地二千五百坪ヲ寺地ニ寄附シ。同キ年十月十八

日當所へ移リレト云。元地ハ今ニ大久保新田ニ

残レリ。本尊正觀音ヲ安ス。

王子権現社 稻荷天神ヲ相殿トス。社頭ニ天正
十年ノ鰐口ヲカク。其圖左ノ如シ。

銘ニ載ル稲毛郷澁口トアレハ。橘樹郡稲毛領



子母口村ナリ。邊川兵庫助カ事蹟等ハ未夕所
見ナシ。按ニ。子母口村ノ民藤七ナルモノハ小
曾川ヲ氏トシ。舊家ナル由云ヘハ。兵庫助カ子
孫ナルベシ。

吉田喜内抱屋鋪 五畝二步。

角田新太郎抱屋鋪 三畝十步。

伊藤甲太郎抱屋鋪 一段五步。

上落合村

上落合村ハ。日本橋ヨリ二里餘ノ行程ナリ。村名ハ
神田上水ノ溝渠ト。井草川ト當所ニテ落合レ故。カ
ク名付ト云。小田原役帳ニ。興津加賀守知行。二十貫
五百七十文。江戸落合。及太田新六郎知行内。寄子衆
配當十貫五百文。江戸落合鈴木分。長野彌六郎分ト
了リ。是ニ榎ハ上水關ケサル前。既ニ井ノ頭ヨリ流出
セル川アリシト見エ。上下ニ村ニ分レシモ古キ事
ニテ。正保改ニハ既ニ上下落合ニ村トス。家數五十

二。四境。東ハ上戸塚村。西ハ多磨郡上高田村。南モ同郡中野村。北ハ下落合村。東西十丁。南北六丁。用水ハ井草川ヨリ引用工。古ヨリ御料所ナリ。檢地寛文十年野村彦太夫。享保十八年寛播磨守紀セリ。村内ニ秩父道中田無村ヘノ往還カ、ル。道幅三間餘。又中程ニ古ノ奥州道アリ。高札場 村ノ東ノ方ニアリ。

小名

坂下
大塚

前下

栗原

神田上水堀 村ノ東ヲ流ル。幅四間程。

井草川 村ノ北ヲ流ル。川幅三間許。

八幡社 村ノ鎮守ナリ。春日稻荷ヲ合祀ス。最勝寺

持。下三社。並同ジ。

末社 第六天 足尾権現

太神宮

天神社

富士淺間社 高サニ丈餘ノ丘上ニアリ。小名大塚

ト云。

燒神社 村民持。

茶雲寺 禪宗黃檗派。山城國宇治萬福寺末。黃龍山

蓮東院ト號ス。元禄六年法雲院慈榮了然尼中興

シ。白翁道恭ヲ勸請シテ第一世ニ居ラシム。了然

尼ハ。甲州武田支族ノ女ニシテ。

東福門院ニ仕ヘ奉リシ人ナリ。本尊如意輪觀音。

行基ノ作。堂中ニ

常憲院殿 淨光院殿ノ尊牌ヲ安ス。寺寶ニ飯次

及杓子ヲ藏ス。飯次ハ朱塗ニテ牡丹ノ模様アリ。

杓子ニハ葵御紋ヲ模画ス。其餘長持アリ。黒塗ニ

テ葵及五七ノ桐ノ紋アリ。リレハ松平越後守ヨ

リ寄附スト云。當寺寶曆十二年三月此邊 御放

鷹ノ時。御膳所トナリシヨリ。シバク御膳所トナ

リシガ。今ハ中絶セリ。

鐘樓 鐘ハ近キ頃鑄造ノモノニテ。銘文ナシ。

光德寺 新義真言宗。多磨郡中野村寶仙寺末。延命

山地藏院ト號ス。本尊地藏ヲ置。

最勝寺 同宗同末。西方山安養院ト號ス。本尊彌陀。

地藏堂

法界寺 法華宗。江戸市谷南寺町連秀寺末。茶毘所

十。縁山ト號ス。本尊釋迦ヲ置。

下落合村

下落合村ハ。日本橋ヨリ行程二里。家數六十七。四境。東ハ下高田村。西ハ多磨郡上高田村。南ハ上落合。上戸塚ノ二村。北ハ長崎村十丁。東西二十丁。南北五丁餘。正保年中ハ御料ノ外太田新左衛門采地十丁。後御料ノ地ヲ小石川祥雲寺領ニ賜ヒ。今新左衛門カ子孫太田内藏五郎カ知行。及祥雲寺領交リ。用水ハ前村ニ同シ。

高札場村ノ中程ニアリ。

水名

七曲^{ナナマヅリ}リ 左右松林ノ山ニテ少シノ坂ア

リ。屈曲セレ所數廻ナレバ。カク唱フ。

中井^{ナカノイ}

神田上水堀 村ノ南ヲ流ル。幅五間餘。土橋ヲ架ス。

長サ六間。田島橋ト號ス。

井草川 南ノ方ヲ流レ。中程ニテ上水堀ニ合ス。幅

四間餘。土橋ヲ架ス。比丘尼橋ト號ス。長五間餘。

酒井采女下屋鋪 廣サ一萬九千三百七十坪ノ内。

一萬六千八百七十坪ハ池也ナリ。

氷川社 村ノ鎮守ナリ。

諏訪社ニ

太神宮 以上四社。藥王院持。

稻荷社三 一ハ藤稻荷ト云。山上ニ社アリ。喬木生

茂レリ。近キ頃鳥居ノ傍ニ瀧ヲ設テ垢離場トス。

藥王院持。二上落合村最勝寺持。

御靈社 祭神ハ神功皇后ナリ。例祭九月ナリ。是ヲ

ビシヤ祭ト號ス。又安産ノ腹帶ヲ出ス。最勝寺持。

末社 稻荷

第六天^{イザナミコト}社^ニ 一ハ藥王院持。一ハ最勝寺持。

藥王院ノ新義真言宗。大塚護持院末。瑠璃山醫王寺
ト號ス。本尊藥師。行基ノ作。座像長九寸許。外ニ觀
音ノ立像アリ。長一尺餘。運慶ノ作。開山ハ願行上
人ナリト云。其後兵火ニ逢テ荒廢セシガ。延寶年
中實壽ト云僧中興シ。元文中再ヒ火災ニ罹リ。
記録ヲ失ヒテ詳ナルコトヲ傳ヘズ。
神田明神社 八幡社 稻荷社
三峯社
釋迦堂 本尊ハ毘首羯摩ノ作。立像長三尺二寸。
堂中ニ愛染ノ像ヲ置。此堂モトハ境外ニアリ

シト云。今モ除地殘レリ。

鐘樓 寛政二年鑄造ノ鐘ヲカク。

金藏院

妙樂寺 以上ニケ寺ハ。藥王院門徒ニテ。慶安以後

廢寺トナリ。除地ハ本山ニテ預レリ。

池袋村

池袋村ハ。地高シテ東北ノ方ノミ水田アリ。其邊地
窪ニシテ。地形袋ノ如クナレハ。村名起リシナラン。
日本橋ヨリ行程ハ前村ニ同ジ。戸數百二十九。東ハ
新田堀之内村。西ハ中丸村。南ハ雜司谷村。巽ハ粟鴨
村少ク係リ。北ハ金井久保村ニ及フ。東西五丁。南北
十三丁。用水ハ仙川用水ヲ引沃ク。江戸大塚ヨリ板
橋ニ通フ路少ク係ル。幅三間許。北條役帳ニ。太田新
六郎知行。三貫五百文池袋ト見ユ。正保改ニハ。齋藤

長左衛門。同惣左衛門。水野孫助。阿部勘左衛門。服部
助左衛門。吉田多右衛門。同清六郎。高木半左衛門。知
行。及ヒ御代官所トアリ。惣左衛門ニ賜ハリシハ寛
永十一年十リ。其餘ハ詳ナラス。今尚其子孫齋藤長
左衛門。同亀五郎。水野遠江守。服部金吾。吉田新兵衛。
同清三郎。高木長九郎等七給ト。御料所ニシテ。阿部
勘左衛門ガ知行ハイツノ頃カ土リテ御料ニ属セ
リ。檢地ハ。正保四年七月。伊奈半十郎紀セリ。
高札場 村ノ中ニアリ。

小名

原

本村

上

氷川社 村鎮守。重林寺持。

末社 第六天 稻荷 十羅刹女

三嶽社 是モ鎮守トス。雜司ヶ谷村法明寺地中觀靜

院ノ持。

末社 稻荷

重林寺 新義真言宗。江戸愛宕下真福寺末。明王山

不動院ト號ス。本尊不動。開山秀譽。慶安二年四月

二十三日寂ス。

觀音堂。十一面觀音ナリ。左右ニ閻魔地藏ヲ置。

鐘樓。寛政七年中興九世快音再鑄ス。本寺二十
七世英範カ撰セル銘アリ。

中^{ナカ}九^ク村

中九村ハ。元禄ノ改ニ池袋村枝郷ト傍記ス。今ハ別
村トナレリ。日本橋ヨリニ里餘。戸數四十三。東ハ池
袋村。西ハ下板橋宿。南ハ長崎村。北ハ金井久保村ト
リ。東西四丁半。南北十一丁。用水ハ仙川用水ヲ引用
ス。當村正保ノ頃ハ高木半左衛門。齋藤惣左衛門。同
長左衛門。阿部勘左衛門。吉田清六郎知行ト。御代官
所ナリシガ。今ハ私領ノミニテ。子孫高木長九郎。齋
藤長八郎。齋藤龜五郎。阿部勘左衛門。吉田清三郎知

行入。檢地ハ。正保四年七月伊奈半十郎紀セリ。村ノ
 飛地池袋村内ニ少クアリ。
 高札場 村ノ中程ニアリ。
 熊野社 村ノ鎮守ナリ。西光院持。下同。
 稻荷社
 西光院 新義真言宗。江戸湯島根生院末。醫王山藥
 圓寺ト號ス。三尊ノ彌陀ヲ本尊トス。開山ハ覺惠
 トノニ云傳フ。
 藥師堂 藥師。及日光月光。十二神ヲ置。
 稻荷社

金井^{カキ}久保^{クボ}村

金井久保村ハ。日本橋ヨリノ里數。用水等。前村ニ同
 也。民戸三十二。東ハ瀧野川村。南ハ池袋村。西北ハ下
 板橋宿。東西十二丁ニ足ラズ。南北五丁餘。正保ノ改
 御料所ノ外。齋藤惣左衛門。水野孫助。木村久左衛
 門。木村善右衛門等四給ナリ。今モ子孫齋藤龜五郎。
 水野遠江守。木村善左衛門。木村善右衛門知行所ト。
 御料所ナリ。檢地ハ。正保四年伊奈半十郎改。又御料
 ノ分ヲ。延寶二年關口作左衛門。中川八郎左衛門等

糾ス。村内ニ大塚并雜司ノ谷邊ヨリ中山道ニ通シ。又
河越道ニ至ルノ便路アリ。村ノ中程ニ石地藏一軀
ヲ建テ。上下板橋ニ分ル、岐路ヲ示セリ。

小名

中井

上之莖

茶屋前

大下

東ノ前

子安明神社 福生寺持。下同シ。

稻荷社

福生寺 新義真言宗。赤羽根村寶幢院末。來光山ト

號ス。本尊大日。

新田堀之内村

新田堀之内村ハ。元禄以前梶原堀之内村ヨリ分郷
ス。故ニ元禄ノ國圖ニ始テ堀之内新田村ト出タリ。
其後何ノ頃ヨリカ顛倒シテ。今ノ唱トナレリ。日本
橋ヨリ行程二里ニ足ラス。戶數三十。東ハ菓鴨村。南
西北ノ三方。共ニ池袋村ニ隣レリ。東西三丁半。南北
二丁半許。地頭ハ水野遠江守。齋藤龜五郎。木村鐵五
郎等三給ト。東叡山領交レリ。檢地ハ。寛延三年九月
曲淵豊後守神尾若狹守紀セリ。

高札場ニ。中程ト。南ニアリ。

小名

南ミナミ

中ナカ

北キタ

稻荷社 村鎮守ニテ。村民持。

上ウヘ板橋イタハシ村

上板橋村ハ。日本橋ヨリ行程二里半。按ニ。板橋ハ古
キ地名ナリ。源平盛衰記及義経記等。治承四年頼朝
隅田川ヲ渡リシ條ニ。フト井隅田兩河ヲ越テ板橋
ニ着シ由之ユ。又中古治亂記ニ。應安元年正月六日。
芳賀兵衛入道禪可カ子伊賀守高貞。武州板橋原ニ
打出トアリ。隣松夜話ニ。大永四年北條氏綱武州ニ
發向板橋邊ノ落人ヲ追撃セシム云々。同書ニ。永祿
四年松山城主北條安房守板橋ト云處ニ鷹野ニ越

ス云々。北條役帳ニ。板橋又太郎七貫文。江戸板橋内
毛呂分。及太田新六郎寄子衆配當ノ内。十二貫文江
戸板橋大炊助屋鋪分。板橋分。三貫三百文。同所内大
谷口同人分トアリ。寛永譜板橋系圖ニ。信濃守忠康
北條氏直ニ仕入。没落ノ後舊地タリシ武藏國板橋
ニ隱居云々トモミエタリ。家數三百九十七。東ハ下
板橋宿。西ハ下練馬村。南ハ長崎村。北ハ中臺村ナリ。
東西二十五丁。南北十七丁。用水ハ石神井川ヨリ引
次ク。當所ハ川越道中ノ馬次ニテ。日本橋ハ二里半。
下練馬村ハ二十六町ノ絶立ヲナセリ。御入國以

來御料所ニテ。檢地ハ延寶二年中川八郎左衛門紀
セリ。
高札場 村ノ中程。往還ノ側ニナリ。

小名
毛呂 小田原役帳ニ。板橋内毛呂分トナ
ルハ是ナリ。
大谷オホヤ口グチ 西光寺ノ邊ヲ云。小田原役帳ニ。
板橋内大谷口板橋分ト記ヌルモノ是
ナリ。
上ウヘ比ヒ山ヤマ 向原ムカハラ 江古田エコダ

小^コ竹^{タケ} 根^ネ上^ノ 上^{カミ}根^ネ

小^コ山^{ヤマ} 栗^{クリ}原^{ハラ} 舟^{フネ}山^{ヤマ}

石神井川 村ノ中央ニアリ。幅三四間。石橋ヲ架ス。

長六間半。幅一丈。石欄アリ。古ハ公ノ修理ナリシ

ガ。寶曆元年ヨリ自普請トナリ。其後水溢ノ備ニ

石橋トセシト云。

神明社 村ノ鑿守ニテ。長命寺持。下三社持同ジ。

氷川社

権現社 祭神詳ナラズ。

天神社

神明社 安養院持。下二社同ジ。

山王社

第六天社

富士淺間社二 一ハ能滿寺。一ハ西光寺持。

鳴神社 西光寺持。

稻荷社五 二宇ハ安養院。三宇ハ長命寺能滿寺西

光寺等ノ持。

安養院 新義真言宗。足立郡西新井村總持寺末。武

王山最明寺ト號ス。本尊阿彌陀ハ紅頰梨色尊形

ト號ス。脇ニ觀音勢至ヲ安ス。并ニ運慶ノ作ト云。

法流中興祐淳。寶永元年七月八日寂ス。當寺ハ北
條相模守時頼ノ中興ナレバ。寺號ヲ最明トイヒ。
又武徳ヲ表シテ山號ニ取ルト云。正保ノ頃マデ
門徒寶珠院ノ傍ニ時頼ノ影堂存シ。同邊ニ最明
寺塚ト云者アリ。及堂坂最明寺腰掛松ナドモア
リシガ。九十年前枯レト云。是皆口碑ニ傳ルノミ
ナレド。堂松ノ稱呼ニヨレバ。左モアラシカ。又天
永貞治文明ノ古碑ナトアレバ。古刹ナルコトハ
論ナシ。
什寶

釋迦像

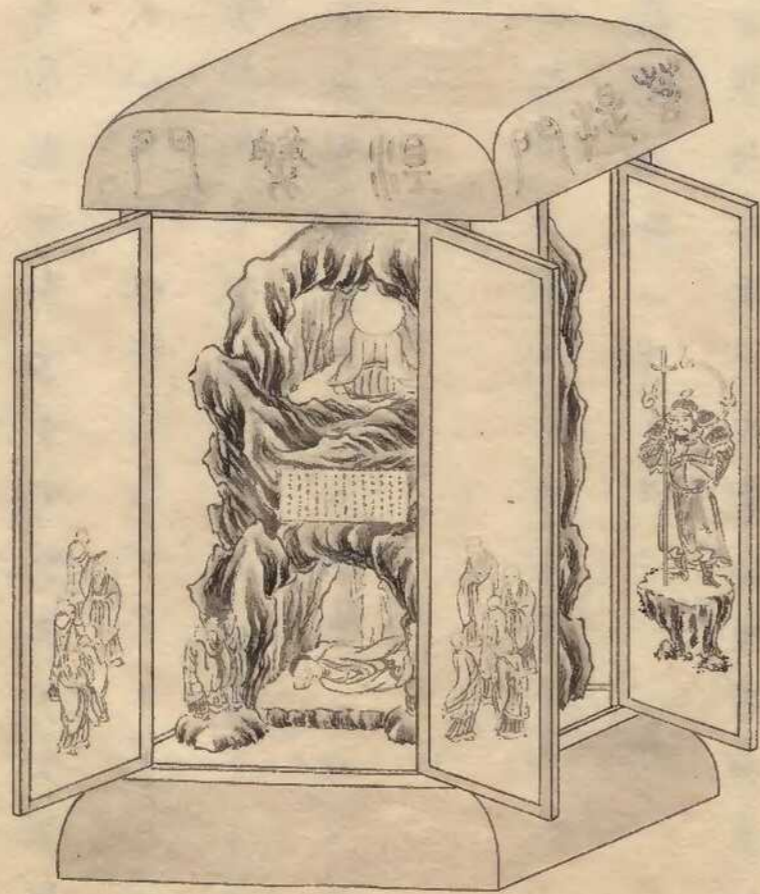
一龕

堂中ニ安置ス。赤梅檀ヲ以テ毘首羯摩カ作
ル處ト云。四面岩石ノ彫刻アリテ。南面ハ華
嚴說法場ニ擬シ。岩窟中ニ釋迦像ヲ安シ。兩
扉ニ目蓮迦葉ヲエレリ。其下ノ窟中ハ釋迦
降誕ノ像ヲ模シ。北面ハ入滅ノ像ニテ。是モ
窟中ニ刻シ。降誕ノ像ト表裏ヲナセリ。此餘
大阿羅漢并十大弟子。其外種々ノ雕鏤アリ。
縁起ニ云。根本開基ハ一千餘年ノ事ナレバ。
悉ク記シガタシ云々。中古武田信玄守本尊

釋迦像南面圖



釋迦像北面圖



夕リシヲ。紀州家ニ轉傳シ。後故アリテ當寺
我師ニ寄進。且其時ノ添狀等アリト載ス。我
師トサセルハ中興祐厚ノコトナルベシ。添
狀ハ何ノ頃ニカ失ヘリ。

鐘樓 元祿二年鑄造ノ鐘ヲ掛。

寺中

寶珠院 如意山ト號ス。本尊立像ノ地藏ヲ安ス。

長八十寸慈覺大師ノ作ト云。

寶藏院 金剛山ト號ス。本尊藥師。日光月光十二
神將及辨天地藏ヲ置。

長命寺 安養院末。東光山醫王院ト號ス。本尊藥師

不動正觀音大黒天ヲ安ス。開山長榮。寛文十年十

一月二十四日寂ス。

天神社 牛頭天王社 稻荷社

勢至堂

兩眼院 同門徒。慈眼山ト號ス。本尊不動ヲ安ス。出

羽國秋田ノ僧快傳房。延寶八年開基スト云。

天王社 天神社

能滿寺 同宗。西新井村總持寺末。夏雲山廣原院ト

號ス。本尊不動。開山源心。承應二年三月二十一日

寂ス。

大日堂

西光寺

同宗。多磨郡中野村寶仙寺末。寶樹山盛德

院ト號ス。本尊正觀音。開山有音。承應三年八月寂

ス。

寶性院

寶仙寺ノ門徒十リ。如意山ト號ス。本尊藥

師。

万福寺

同門徒。神陀洛山ト號ス。本尊藥師。外ニ弘

法大師作ノ地藏一軀。又大日不動閻魔ヲ置。開山

覺雲。慶安四年六月二十四日寂。

地藏堂

西光寺持。

板橋城蹟

今其蹟ヲ詳ニセズ。鎌倉大草紙ニ板

橋城ト載セ。及小田原記ニ板橋肥後守當城ニ住

シテ。千葉次郎ニ屬スト見エタリ。又隣松夜話ニ

永祿四年松山ノ城主北條安房守板橋ト云處ニ

鷹野ニ越シ。逗留シタリケル。太田三樂三千餘騎

ニテ取詰。松山ノ副將北條玄菴子息雅樂佐笠原

新六郎ヲハジメ。城中ノ兵防戦。太田ガ先將高梨

三右衛門。間宮隼人。澁谷全文。堀ヲオレ破リ亂レ

入。暫時ニ衆取り畢又トモアリ。此時廢城トナレ

ルニヤ。ハタ小田原没落ノ頃廢セシニヤ。詳十ラ
ス。

舊家者與右衛門 代々里正ヲ勤ム。河原ヲ氏トス。
家ニ系圖日記及仁王三郎ノ太刀等傳ヘタリシ
ガ。近キ頃紛失スト云。今纔ニ脇差一振。古印籠。及
ビ今川氏真ノ文書一通ヲ藏ス。其文左ニ載ス。

古刀於右衛門家傳

古刀於右衛門家傳

古刀於右衛門家傳

古刀於右衛門家傳

楊良の日記

此文ニ據ハ。三州西郡鷓殿氏ニ與ヘシ書ナリ。與
右衛門カキニ入シ故ハ傳ヘズ。

酒井彌門抱屋鋪 七千九百十九坪餘。

牛込濟松寺抱屋鋪 一万十七坪餘。

伊勢十三郎抱屋鋪 四千百四十三坪。

下板橋宿

下板橋宿ハ。正保元禄ノ改ニハ村ト記セリ。民戸四
百十九。東八十條瀧野川ノ二村。西ハ上板橋村。南ハ
長崎。中九。金井久保ノ三村。北ハ前野村ナリ。東西二
十丁。南北二十五丁。當所ハ中山道第一ノ宿驛ニテ。
人馬各五テラ定額トシ。日本橋マテニ里。炭宿ヘニ
里十丁ノ繼立ヲナセリ。其役ヲ助ルモノ五十二ヶ
村。高一万五千六百十三石ノ地ナリ。始テ宿驛ヲ置
レシ年代。詳ナラズ。宿並ノ長十三丁十五間ニテ。道

幅五間。御舟入以來御料所十リ。用水本田ノ檢地
ハ前村ニ同ジ。其後ノ新田ハ。寶曆元年八月半三郎。
村上佐五右衛門。享保十九年鈴木平十郎。元文五年
柴村藤右衛門等改ム。
高札場 宿ノ中程ニ了リ。

小名

平尾

江戸ノ方ヨリ入所十リ。コヽニ西
ノ方ニ分レ道了リ。上板橋へノ往還十
リ。小田原役帳ニ。元板橋知行平尾分ト
載シハ是十リ。其全文ハ既ニ上板橋村

ニ云リ。

根村

當所ノ本村ナリト云。

中宿

上宿

山中

茶屋

岩ノ坂 街道ニアリ。古ハイアノ坂ト云。後岩ト改メ
呼シト云。

縁切榎

岩ノ坂ニアリ。近藤信濃守抱屋鋪ニ傍ヘリ。

園ニニ丈許。樹下ニ第六天ノ小祠アリ。則其神木
ナリト云。世ニ男女ノ惡縁ヲ離絶セントスルモ
ノ。コノ樹ニ祈テ驗アラスト云コトナシ。故ニ嫁

娶ノ時ハ其名ヲ忌テ此樹下ヲヨギラスヨリテ
近キ年樂宮御下向ノ時モ他路ヲ御通行アラ
セラレシナリ。

石神井川上宿中宿ノ間ヲ流ル幅七間。

千川用水堀宿ノ西南裏ヲ流ル幅一間。

板橋長九間幅三間中山道ノ往還石神井川ニ架

セリ。

水車村ノ東名主市左衛門カ地内ニアリ重吉ト

云モノ持ナリ石神井川ヲ引テ車ニ灌ク車輪

大サ圓徑一丈六尺五寸左右設クル所ノ杵五十

三本挽臼ハ一組ナリ此水車ハ關東第一ニレテ

コレニ勝レルモノナシト云。

一里塚宿ノ東往還ノ左右ニアリ塚上ニ榎アリ。

松平加賀守下屋鋪宿ノ東ニアリ二十一万七千

五十坪餘寛文中ニ賜フ所ト云。

氷川社鎮守ナリ正雲庵持。

末社牛頭天王稻荷

氷川社コレモ鎮守ナリ觀明寺持。

末社神明八幡稻荷辨天

牛頭天王

竹根 權現社

東照宮此邊 御經歷ノ時。用ヒサセ給ヒシ御竹
杖ヲ祭レリト云。香林庵持。

粵^{ウツワ} 權現社 是モ

東照宮御來馬ノ粵ヲ祭リシトモ。又御屨ヲ祭ル
トモ云ヘド。隄ナラズ。社ニ丸ノ内十文字ノ紋ヲ
彫レリ。人祈レハ必驗了リト云。祈ル者ハ社内ニ
納レ可ノ屨ノ半片ヲ借テ。己ガ家ニ祠リ。報賽ノ
時一雙ノ屨ヲ納ムトナリ。村民持。
稻荷社二 一ハ智清寺。一ハ文殊院持。

諏訪社 文殊院持。

象蓮寺 淨土宗。芝増上寺末。孤雲山慶學院ト號ス。

御朱印寺領十石ハ。天正十九年十一月賜ヘリ。開
山英蓮社信譽無的。應永十四年三月二十九日寂
ス。什寶古書等ハ回祿ニ逢テ烏有トナリシト云。
墓所ニ板橋信濃守ノ石碑アリ。本樹院前信州空
山有賢禪定門。文祿二癸巳年十一月二十一日ト
刻ス。此碑ハ寛政中再建セシモノニテ。モトノ碑
石ハ側ニアレトモ。文字ハ埋没セリ。此古碑實ニ
板橋家ノモノナリシヤ。寺僧モ詳ニセズト云。又

康永二年ノ板碑アリ。此地ノ民與左衛門カ先祖ノ碑ナリト云。

天神社 渡唐ノ天神ヲ安ス。

鐘樓 享保十四年鑄造ノ鐘ヲカク。

智清寺 同宗同末。龍光山惠照院ト號ス。御朱印

寺領五石八天正十九年十一月賜ハレリ。本尊彌

陀。開山見譽智清。永享十二年三月十五日寂ス。檀

越名主市左衛門カ先祖某。法號大善院圓譽月宗

道元ハ。故領主板橋信濃守忠康カ子ナリト云。此

人寛永三年六月朔日死ス。寺記天明四年ノ火災

ニ鳥有トナリテ。其餘ノ事歴詳ナラス。

鐘樓 寶永八年鑄造ノ鐘ナリ。

稻荷社 木下稻荷。又藤吉稻荷トモ呼ブ。神躰白

狐ニ象シ狀ニテ。本地十一面觀音ナリ。相傳フ

元和三年五月大坂籠城ノ浪士。高松半平ト云

モ。此像ヲ護持シ來リテ寓居ス。幾程ナク死

ニ臨ミテ。住僧法譽輪宗ニ此像ヲ授テ其由緒

ヲ語ル。其大畧ハ。太閤秀吉出身以前ヨリノ寺

護神ニテ。大坂城内ニ在レテ。落城ノ頃竊ニ奉

シ出。シタルト云。カクテ半平翌四年八月三日

死シ。法名靈鑑院義忠ト號ス。其後輪宗此社ヲ
境内ニ造リ。秀吉ノ初名ヲトリテ社ニ名ヅク
ト云。

九品佛堂 座像ノ彌陀ヲ安ス。此像モト菓鴨真
性寺ニアリシガ。其寺廢シテ後當寺ニ移セシ
ト云。

東光寺 同宗同末。丹船山藥玉樹院ト號ス。本尊彌
陀及闍魔ヲ置。開山天譽。延德三年十月二十五日
寂ス。當寺元ハ船山ト云。所ニ在シヲモテ。山號ト
スト云。船山ト云ハ今松平加賀守下屋鋪ニ入レ

リ。境内ニ厩應貞治明德應永等ノ古碑アリ。觀智
國師ヨリ當寺ニ出セシ文書一通ヲ藏ス。其文左
ノ如シ。

あふらむ
しるし
一
あふらむ

後先

右

お定

左

一

二

三

四

七
一
月
廿
九
日
申
時
刻
申
時
刻
申
時
刻

申
時
刻
申
時
刻
申
時
刻
申
時
刻

乙

増上寺
了了居士

了了

増上寺

鐘樓 寶曆五年鑄造ノ鐘ノカク。

薬師堂 是ハ昔ノ本尊ナリト云。

觀明寺 新義真言宗。足立郡沼田村惠明寺末。如意

山ト號ス。開山慶淨延寶五年十月二十七日化ス。

本尊正。觀音ヲ安ス。長一尺五寸。惠心ノ作ト云。傍

ニ弘法、大師ノ石座像ヲ置。長ニ尺餘。古ノ本尊ト云。境内ニ曆應元年ノ板碑アリ。

神明社 元境外ニアリシヲ。寛永中爰ニ移セリト云。

天王社

文殊院 同宗。上板橋村安養院門徒。幡場山ト號ス。

本尊文殊。墓所ニ性惠法印寛文十二年七月十九日ト勒セル碑アリ。是開山ノ僧ナラシト云。什寶ニ雷斧一ヲ所藏セリ。

閻魔堂 地藏堂

遍照寺 天台宗。葛飾郡隅田村木母寺末。大日山ト

號ス。中興ノ僧ヲ慶雲ト云。寛文二年七月十三日化ス。本尊大日ヲ安ス。是境内ヨリ出現ノ像ナリト云。長五寸許。

稻荷社

本壽院 法華宗。稻付村法真寺末。本尊三寶祖師ヲ安ス。

日曜寺 真言律宗。江戸湯島靈雲寺末。光明山愛染院ト號ス。本尊愛染ハ弘法大師ノ作ト云。長一尺六寸。大。久保佐渡守常春修造セシ由。享保七年十

二月僧實際カ、厨子ノ裏書アリ。奥ノ院ニ薬師ヲ
安ス。此像古ノ本尊ニテ。行基ノ作ナリ。立像長一
尺六寸。縁起ニヨルニ。當寺ハ行基ノ開闢ニテ。此
自作ノ像則當時ノ本尊ナリ。當寺一旦衰微ノ頃。
本寺ニ移シ置シニ。留守タリシ所化ノ夢ニ入テ。
我寺ニ歸來テ守護セントノ告アリ。依テ再ニ當
寺ニ遷座スト云。前立ノ像ハ。延享ノ頃歸依ノ人
アリテ造立セリ。又縁起ニ康平五年義家奥州征
伐ノ時。祈願アリテ満足ノ後。伽藍ヲ再興シ。文明
年中太田道灌参拜シ。靈驗ヲ得テ世ニ傳ヘシガ

為。小松ヲ植シガ今ノ寺中ノ南ニ森々タリ。後回
祿ニ罹リ。小堂ノミ存セシヲ。正徳ノ頃宥慶比丘
一宇ヲ營ミシヨシ見ユ。此僧實暦元年十二月十
四日寂ス。按ニカク古刹ノ如ク傳フド。實ハ宥
慶開基シテ故事ヲ附會セシナルベシ。享保中徳
川右衛門督宗武卿田安院再興マレク。其外所持
ノ佛像御奉納ノ什寶數品アリ。
寶篋印塔四基 共ニ田安殿ヨリ造立セラルト
云。

寺。實

愛染木像

一軀

悠然院殿等身ノ像ナリ。厨子裏書ニ開眼修
法一万座導師阿闍梨比丘實際。大檀君田安
徳川右衛門督從三位中将源宗武卿。寛延三
年三月二十六日ナリ。

大日像

一軀

愛染像

一軀

藥師像

一軀

右二軀共ニ古運長作。材ハ唐白檀ニテ。臺座
蓮華ハ紫檀ナリ。皆悠然院殿秘藏ノ像ナリ。

昔慈覺大師當寺ニ詣リ。手自此像ヲ造テ本

尊トスト云傳フ。今ハ寺寶トナル。

不動像ニ童子卅

一軀

運慶作

千手觀音

一軀

葵御紋織出ノ囊ニ入。田安殿簾中寶蓮院殿

嘗月光院殿ヨリ傳來セラレテ寄納アリ

レト云。

舍利

一顆

黄。金寶塔ノ中ニ収ム。藤原秀卿龍宮ヨリ感

得セシ物ナリト云。

毘沙門像

一軀

聖德太子ノ作ニテ。楠正成守本尊トセシ像
ナリト云。手ニ寶塔ヲ捧ク。塔中ニ舍利一顆
ヲ収ム。

後醍醐天皇御冠ノ中ニ納置給ヒシ所ナリ
ト云。

大威徳明王像

一軀

弘法大師作。

地藏像

一軀

田安殿簾中寶蓮院殿守護佛ナリ。山城國矢
田寺開山僧滿米作ナリ。

愛染像

一軀

藤木愛染ト號ス。田安治察卿ノ感得セラレ
シ像ナリ。相傳フ源義家守本尊ナリト。

雨界大曼荼羅

二幅

共ニ長一丈。幅七尺。表装ニ葵御紋ノ錦ヲ用
ユ。

愛染大曼荼羅

一幅

長一丈餘。幅七尺。此曼荼羅ハモト一枚ノ結

ニ、レテ。極彩色ノ着色ヲモテ。表装ノ形ヲナシ。葵御紋ヲモ描出ス。悠然院殿寄納。

星供大漫荼羅 一幅

長七尺。幅三尺餘。

半支迦大将画像 一幅

以上二幅。表装共ニ葵御紋散シ。

釋迦三尊画像 一幅

大夫法眼永春筆。

求聞持虚空藏画像 一幅

春日基光筆。基光ハ正二位中納言清隆卿ノ

子ナリト云。

文殊菩薩画像 一幅

北殿司筆。

不動画像 一幅

智證大師筆。

同 一幅

興教大師筆。

大元師影像 一幅

極彩色。筆者ヲ傳ヘズ。

辨天像 一軀

白龍玉一顆。宇賀神一膝ヲ厨子中ニ収ム。辨
入ハ弘法大師ノ作。此像兼生飛彈守氏卿カ
守本尊ナリト云。

辨天画像

一幅

大佛頂曼荼羅

一幅

寶蓮院殿遺物ナリ。故ニ杏葉牡丹ノ紋アリ。

十六善神影像

一幅

右衛門督齊匡卿筆自書。裏書ニ二十五歳ト
記シテ押字アリ。

三面大黒像

一幅

傳教大師作。裏ニ名判アリ。

十二天画像

各幅

五大虚空藏画像

一幅

筆者ヲ傳ヘズ。細密ノ画也。飢饉ノ時ハ金文
鳥ビシノ法ヲ修シテ祭ルト云。

毘沙門影像

一幅

悠然院殿夢想ニ依テ画カシメ給フ所ナリ。
具足ヲ着セシ状。普通ノ像ニアラズ。

裏虞利童子

一軀

高一尺三寸。悠然院殿殊ニ蛇ヲ惡ミ給フ。毒

蟲ヲ除クノ利益アルヲ以。此像ヲ彫刻セシ
ノラレト云。今信仰ノ輩蟲毒ノミナラズ。疱
瘡濕瘡ノ病苦ヲ除クト云。

四天王像

四軀

大龍ニ騎スレ状ナリ。二軀ヅ、ヲ一厨ニ安
ス。

八葉佛天蓋

一蓋

瑤瑤十六垂。本堂ニ掛ク。

合箱本尊

一合

不動愛染ノ二像。古運長作。悠然院殿登管ノ

時。頭ニ掛ラレシ物ナリト云。下ノ大日像同。

同胎金兩部大日像

一合

能作生玉

一顆

弘法大師作。密宗秘法ノ珠ナリ。

彌陀像

一軀

頼朝法印ト云僧。三寶再興ノ大願ヲ發シテ
彌陀一万ヲ彫刻ス。此像其一ナリト云。此法
印ハ鎌倉將軍ノ前身ナリト云妄説アリ。

華嚴經回向品

一幅

傳。教大師筆。

般若心經

一軸

弘法大師入唐ノ願望アリテ。般若千卷ヲ書
寫ス。此經其一ナリ。

般若心經

一軸

是モ弘法大師ノ筆ナリ。或家ノ珍藏ナリシ
ガ。火災ノ時不測ニ災ヲ免レシヲ以當寺ニ
寄納スト云。

經文

二軸

一ハ中將姫。一ハ藤原魚養筆。

不動三尊

一幅

不動影像

一幅

後明院殿御養女。種姫君御筆。

大明院宮筆跡

一幅

水晶寶塔

一基

唐金寶塔

一基

高四尺。中ニ

孝謙天皇御作ノ百万塔一ヲ安ス。此塔中又
天皇宸翰ノ無垢淨光陀羅尼ヲ収ム。悠然院
殿寄附シ給フ所ナリ。

稻荷像

一軀

弘法大師作。悠然院殿秘藏ノ像ナリト云。
弘法大師像 一軀

大師ノ自作ト云。厨子高三尺五寸。水引ニ葵御紋アリ。天明四年三月田安殿ヨリ大城ノ御覽ニ入ラレ。後ニ當寺ニ寄附セラレレト云。

弘法大師影像 一軸

大師ノ自画ナリ。モト田安殿ニ所藏セラレ。レ時。不測ニ火災ヲ免レレ像ナリト云。

弘法大師童形像 一軸

古画ナリ。

弘法大師生涯曼荼羅 一幅

唐桑寶塔 一基

田安中姫君追福為。寶蓮院殿造ラレノ給フ所ナリ。

人丸像 一軀

天滿宮画像 一幅

管丞相ノ自画ナリト云。

同像 一幅

薩。天錫筆。

六角唐墨

一挺

康熙五十年製。

清淨墨

二挺

一ハ葵御紋アリ。

六角叱食

二

悠然院殿ノ命ニテ造ラシメラシモノナリ。内外惣金地。

壽山石香爐

一合

唐山ノ製ナリ。雲龍ノ彫刻アリ。

香合

一合

寶蓮院殿遺物ナリ。杏葉牡丹ノ紋アリ。

同

一合

銅器。阿蘭陀製。

同

一合

梨子地花鳥繪。

堆朱香合

一合

同香盆

一合

唐人ノ繪ヲ彫ル。

華蔓

二

ニ、クルニ連華唐草瑤瑤付。

手燼

唐物十リ。

和歌掛物

僧元政筆。和歌三首ヲ書ス。

六歌仙色紙

一軸

官方及關白殿下筆

水引

葵御紋附。雲龍赤地錦。

玄寶院

當山玳修驗。江戸青山鳳閣寺配下。本尊不動ヲ安ス。先祖ハ勢州ヨリ來住シテ。今五代ニ及。

香林庵

彌陀ヲ置リ。泉蓮寺持。

正雲庵

是モ彌陀ヲ置リ。智清寺持。

近藤信濃守抱屋鋪

一万六千七百五十五坪。

宮城三左衛門抱屋鋪

千八百四十九坪。

秋山修理抱屋鋪

七千五百坪。

舊家者市左衛門

板橋氏十リ。家系ヲ闕ルニ。大祖

村岡五郎良文ニ出。良文カ子孫ニ豊島因幡守康

家ト稱スル者アリ。永久二年武州豊島郡豊島村

ヲ領ス。豊島太郎太夫清光。葛西三郎清重。皆同族

ナリト云。康家ガ子孫因幡守親盛。板橋ノ御東山

ト云所ニ在城シテ。氏ヲ板橋ト改ム。是板橋氏ノ
祖ナリ。其子將監親棟ニ二子アリ。長ヲ太郎行常
ト云。後加賀守ト改ム。次ヲ親恒ト云。板橋英太郎
家譜ニ。信濃
守盛安トシ。寛永
家譜忠康ニ作ル。其子民部某寛永譜。忠
正トス。ハ。召出
サレテ子孫旗下ノ士ニ列ス。次男正重ハ當所ニ
土著シテ。子孫今ノ市左衛門ニ至ル。又行常ガ子
ニ大隅守正高ト云モノアリ。常州笠間ニ移ル。子
兵左衛門正吉。領主松平丹波守康永ニ仕フト云。
旗下ノ士英太郎カ家譜ト照シ見ルニ。甚齟齬ス
トイヘドモ。姑ク家傳ノマ、ヲ録ス。

